

# 「丁企業辞め就農 第三者継承

## 人とのつながり大切に

熊谷市の高橋さん、井田さんに感謝



高橋さん（右）と井田さん

の配慮は重要だった。高橋さんは今も当然のように地域の人のつながりを大切に。地域の集まりには積極的に参加し、そこで得た知識を農作業に取り入れることもあるという。

また、高橋さんは効率的な農作業の重要性について井田さんからの教えを受け継ぎつつ、「より良い農作物づくりのため作業は一切妥協しない」ことを心がけている。過去には作業が間に合わないこともあった。しかし、数々の失敗を糧として、考え、改め、前に進む。高橋さんはそうしてきた。

高橋さんは今後について「マニュアルなどで業務の標準化を進めて、次の世代が継承しやすい形を作りあげていきたい」と話す。師匠の意志を継いだ高橋さんからは「この地域を守っていく」という、担い手としての強い思いが伝わった。

【埼玉】熊谷市の高橋秀征さん（53）は、2023年に井田文雄さん（77）から第三者継承を受け、米7・5畝、麦10・5畝とネギ20畝を生産している。

高橋さんは元々IT企業に勤めていたが、変化する職場環境や自身の生き方を見つめ直し、農業の世界に飛び込んだ。井田さんとの出会いは、最初に農作業に取り組んでいる高橋さんの姿を見

ていた井田さんが畑で声をかけたのがきっかけ。

その後、井田さんのもとの2年間研修生として働きながら、農業の楽しさと難しさを学んだ。

「はじめは稲と麦の区別がつかないほどだった」と高橋さんは笑う。

地域の人のつながりについても高橋さんは井田さんに感謝している。市外居住の高橋さんにとって、さまざまな人をつなぐための井田さん